

木に触れて木に学ぶ

2021弟子屈町木育週間
森林体験教室



針葉樹の樹液でアロマづくり

23日には、桜ヶ丘公園森林キャンプ場で森林体験教室を開催。町内の小学生27人が参加しました。北海道認定木育マイスターである萩原寛暢さんや根西西部森林官署の方など、木の専門家たちを講師に迎え、森林について学びました。まさ割り体験やカスタネット作り、樹液を使ったアロマ作りなどを通して、木との触れ合いを存分に楽しみました。



想像力が養われる木のおもちゃでの遊び

町では木育への取り組みの一環として、10月11日～15日に木育週間を開催しました。木育は北海道生まれの取り組みで、子どものころから木を身近に使うことを通じて、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む活動。森林に囲まれ共生してきた本町にとって大切な取り組みです。期間中は町林業多目的センターに木のおもちゃや森や木工などに関する本などが用意され、一般開放されました。木馬や木のシーソー、積み木などに、訪れた親子連れや園児らが歓声を上げていました。

地域の安全を守る

「ひまわりの絆プロジェクト 秋の全国交通安全運動」
全国地域安全運動青色防犯パトロール隊出発式



青色回転灯を点灯して出発

全国地域安全運動が始まった10月11日は、青色回転灯を点灯した青色防犯パトロール隊の出発式が行われました。この運動は20日まで行われ、「子どもと女性の犯罪被害防止」「特殊詐欺の被害防止」を重点とし、同隊はパトロールの実施で地域の方の防犯意識を高めることを目的としています。式には井元署長をはじめとした署員と弟子屈、標茶両町の自主防犯パトロール隊、役場などから約20人が参加。井元署長らに見送られ、同隊の車はパトロールへ向かいました。



真剣な表情で種を収穫

この秋、弟子屈警察署(井元秀樹署長)では、地域の安全を守るためさまざまな取り組みが実施されました。9月28日には「ひまわりの絆プロジェクト 秋の全国交通安全運動」が開催され、弟子屈小学校(大西展史校長)の3年生26人が交通安全メッセージボードの作成とヒマワリの種の収穫を行いました。「ひまわりの絆プロジェクト」とは、警察署などを中心に全国で行われている、命の大切さと交通安全を訴えていく取り組みです。交通安全メッセージボードには、児童が交通安全を願って書いたメッセージカードが貼られ、同署2階に掲示されました。ヒマワリの種は、同署前で今年咲いたヒマワリから収穫。今後は運転者に配布するなど、交通安全啓発活動に活用されます。

町の話



CloseUp Topics

来年のワインに期待高まる

令和3年度ブドウ収穫



立派な実がたくさんありました

徳永町長は「収穫が1番楽しく、嬉しい。来年のワインやジャムなどを楽しみにしてもらえたら」と話しました。

本町産のブドウを100%を使ったワイン「葡萄酒色の旦(えびいろのよあけ)」醸造用ブドウの収穫が、10月12日から18日まで、町民農園や屈斜路・川湯の圃場など町内で一斉に行われました。18日には町民農園の収穫に徳永町長や望月摩周湖農協専務らが参加しました。町では2009年からワイン用葡萄「山幸」を栽培しており、現在町内の主力圃場では約1千5百本の苗を栽培しています。今年には約3千5百kgを収穫し、昨年の収穫量を大きく上回りました。今年収穫したブドウは、ワイン醸造以外にもジャムやビール、ソースなどの2次加工品に利用される予定です。



収穫に精を出す



公式YouTubeチャンネル
公式LINEアカウント

町の話



CloseUp Topics

QRコードから町公式YouTubeチャンネルでもご覧いただけます。

協力隊と弟子屈の魅力を再発見

弟子屈中学校総合学習
「弟子屈町の魅力についてのディスカッション」



真剣に耳を傾ける生徒ら

生徒は1人ひとりが持っているタブレット端末を使用し、チャット機能を使い「弟子屈にしかない魅力は?」「どうやって弟子屈を知りましたか」などをその場で質問。ディスカッション終了後は「今まで気づいていなかった魅力を知り、より弟子屈を好きになれた」「弟子屈に貢献できるような活動をした」といった意見が聞かれました。



弟子屈町でやりたいことを発表

弟子屈中学校(成瀬剛慈校長)で9月29日、3年生の総合的な学習の時間の授業として「弟子屈町の魅力についてのディスカッション」が行われ、当町の地域おこし協力隊7人が参加しました。今回の授業は弟子屈の魅力を再発見することを目的に行われたもので、協力隊員の皆さんが移住された立場から見た町の持つ魅力について語り、生徒へ伝えました。協力隊員のそれぞれの活動などを紹介した後、「弟子屈町でやりたいこと」をテーマに、「登山、カヌー、トレッキング」などを1つの町で全てできるところは少ない。まずは自分が弟子屈を全力で楽しみたい」「手つかずの美しい自然が広がっている。森の魅力を伝えていきたい」など、協力隊員が感じている町の魅力を絡めてお話ししました。